

皆さんおはようございます。本日から私の市政2期目のスタートとなりますので、職員の皆さんに一言述べさせていただきます。

先般の市長選挙はコロナ禍の中での選挙となりましたが、選挙結果については、これまで皆さんと取り組んできた市政やまちづくりが評価されたと同時に、これからの市政に対する市民の皆さまの期待の表れであると受け止めております。改めて私自身、課された使命の大きさと責任の重さに身が引き締まる思いです。

選挙戦を通じて私は、新潟を活力ある日本海側の拠点都市に発展させ、多くの皆さまから「新潟で育って良かった」「新潟で暮らしてよかった」「新潟で働いてよかった」と思っただけの新潟を市民の皆さまと一緒に創りだしたいと訴えました。そのためにやり遂げなければならないことを3つの決意として約束させていただきました。

1つ目は「新型コロナに打ち勝ち「平穏な日常」を取り戻す」ことです。

新型コロナウイルスの発生からもうすぐ3年が経とうとしていますが、新型コロナとの闘いは続いております。そして依然として、市民生活をはじめ経済、教育、観光など様々な面で影響を及ぼし続けています。

現在も感染の再拡大が続いており第8波が現実味を帯びてきています。さらに季節性インフルエンザとの同時流行による医療ひっばくが懸念されることから警戒を強めなければなりません。

しかし、こうした状況の中でも市政の停滞は決して許されません。

これまでの経験で培った知見を生かし、新型コロナウイルスとうまく付き合いながら、一日も早く平穏な日常を取り戻すべく努力をしていかなければならないと考えています。

2つ目は「行財政改革を継続し持続可能なまちを実現する」ことです。

持続可能な新潟を築くためには、これまで取り組んできた行財政改革の手を緩めることはできません。災害にしっかりと備え市民の皆さまの豊かな生活への投資を可能とする財政基盤づくりを進め、市政をさらに充実させていきます。

そして3つ目は「新潟の明るい未来を切りひらく」ことです。

今日のように不確実性が増す状況だからこそ、新潟の明るい未来に向かっていくことが市民の皆さまの活力につながると私は確信しています。

今後も人口減少は進み、社会の担い手不足、税収の減少など我々を取り巻く環境は一層厳しさを増していきます。このまま何も手を打たなければ、明るい未来を描くことは決してできません。

新潟の良さは「都市と田園が調和し暮らしやすい」というところにあります。そ

の強みを最大限生かしながら、新潟を活力ある日本海側の拠点都市にしていく。そして、市内8区の歴史や文化、産業などの特色を生かし8つのカラーで成長し続ける新潟市の実現に取り組んでまいります。

コロナ禍により働き方や暮らし方が変化し、地方への関心が高まっています。また、本市においては新潟駅の約60年ぶりとなるリニューアルが着実に進み、都心軸「にいがた2キロ」での再開発の動きが出始めています。

この大きな転換期を見逃すことなく、デジタル化に対応したオフィス整備を進め、新たなビジネスにチャレンジする皆さまを全力で応援するなど若者にとっても魅力ある雇用の場を生み出していきます。

さらに、田園地域が生み出す「食と農」は本市の大きな魅力であり強みです。水田農業に加え園芸作物の新たな産地づくりを推進し「儲かる農業」の実現に取り組み、農業を魅力ある産業に育てていきます。

また、8区の活力向上に向けては、区の実情に合わせた柔軟かつ自律的な区政運営ができるよう、区の権限、財源を強化するとともに区からも重点事業の提案ができる制度を創設します。予算編成プロセスの段階から改善を進め、新年度予算に反映させていきたいと考えています。

併せて、各区の特色を生かした民間事業を支援する新たな仕組みを構築し官民が連携しながら区の活力向上、さらには市の活力向上につなげていきたいと思っています。

私は、このたびの選挙を通じて、改めて子育て世帯の大変さを痛感しました。経済的な負担、精神的な負担が重くのしかかり、多くの方が希望する子どもを持つことができないという現実があります。

こういった切実な声に寄り添い、妊娠、出産、子育てにおける経済的負担、精神的負担のさらなる軽減に取り組みたいと思います。そして、安心して子どもを産み育てていただける環境をさらに充実させていかなければならないと強く感じています。

具体的には、今後4年間で妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃するとともに、産後ケアの利用料金を引き下げ心身ともに安心して妊娠、出産、産後を過ごせる環境を整えます。さらに、第3子以降の保育料無償の対象条件を拡充したいと考えています。

その他、私の選挙公約をはじめ、各区の強み、特色を生かす取り組みや、支えあいの地域づくり、交流人口の拡大など、都市の成長と暮らしの向上の好循環につながる取り組みを、今後一つ一つ着実に形にしていきたいと考えています。

最後になりますが、これまでの4年間「市役所はよくやってくれている」とお褒

めの言葉をいただくことができました。私自身、こういった声をいただくことは本当にうれしいことですし、職員の皆さんのやりがいにつながるのだと思います。

市役所は住民に最も身近な存在として、職員の皆さんにとって大変なことも多いかもしれませんが、こうした一つ一つの積み重ねが新潟市役所全体の評価につながっていくことだと思っています。

そのために、市役所の職員としてどう対応すればいいのか、市民の皆さまと同じ目線に立って、絶えず考えながら仕事に励んでほしいと思います。そうすれば、市民の皆さまは必ずや評価してくれると思います。

今ここに集まっている幹部の皆さんからは、ぜひ自らが職場のリーダーとして率先して行動するとともに、職場の職員一人ひとりが仕事に取り組みやすい環境づくりをお願いします。

私も本日から4年間、気持ちを新たにし新潟市政発展のために全力で取り組む決意です。色々と困難なこともあると思いますが、皆さんと良くコミュニケーションをとりながら一緒に頑張っていきましょう。

どうぞよろしくをお願いします。以上です。